

『第13回五葉湖畔の集い in 鷹生ダム』

「森と湖に親しむ旬間」の関連行事として、令和6年7月28日（日）に五葉山の麓にある鷹生ダム周辺で開催されました。当日の天気は、時折降雨があったものの強い日が差すことなく、心地良い風も吹いていて過ごしやすい陽気でした。しかし、前日からの雨による影響でグラウンド・ゴルフ大会が中止になり、ダムの水位が低いことからボート体験も中止となりました。

私は、岩手県実行委員会大船渡地区分科会のメンバーとして、木工教室を行いました。木工教室では小さな小物入れ、持ち手のある大きな小物入れ、本棚の3種類のいずれかを制作できます。

最初の体験者は、大人の男女2名で、二人とも持ち手のある大きな小物入れの制作をしました。途中、スタッフも釘打ちのサポートをしていたのですが、釘を打つ方向が曲がってしまい板に傷ができてしまう場面もありました。それでも何とか完成にこぎ着けて、二人とも笑顔で帰られました。



会場の様子

森の工作館、木工教室、縁日コーナー



大きい本棚制作中

その後は、家族連れの体験者が増え、ご両親の力を借りながら制作していました。中には、お父さんが釘を支えている手をお子さんが金槌で打ってしまう等のハプニングもありましたが、和気あいあいと制作している光景に会場が和みました。

木工教室に参加してくださった皆さんが、森林やダム等のもっている自然豊かな空間や社会生活に果たしている役割について少しでも興味を持っていただけたら幸いです。